



No.49

平成30年  
3月1日発行

# かみかわ町 議会だより

➤ 議会を傍聴しませんか?

第1回定例会は3月6日(火)

[午前9時~] 一般質問等から16日(金)を予定しています。



## 「道普請・親睦会の様子」

(撮影者「フォーカス友の会」高柳 昭男さん  
馬場 勲さん  
奈良洋太郎さん)

毎年原新田では、道普請を行いその後には和やかな雰囲気のもと親睦会を開催し地域住民の交流が図られました。今年度は雨のため2週にわたり実施しました。

## ● 主な内容 ●

- 平成29年度神川町一般会計補正予算(第5号)など補正予算を可決
- 神川町多目的交流施設設置条例などを可決

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

12月定例会で

議会構成が変わりました



議 長  
小井戸 英夫 議員

○議会運営委員長

赤羽 奈保子 議員

○辞職

山崎 正弘 議員

新議員紹介

1月28日執行の神川町議会議員補欠選挙において無投票当選となり、新議員が誕生しましたのでご紹介いたします。



設楽 五郎 議員

昭和30年2月15日 生  
所属委員会 総務経済常任委員会  
職業 電気管理業  
党派 無所属  
住所 植竹563番地5

新人として議員活動を勉強し、住民の皆様のご意見を聞かせてもらい一生懸命働きますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

定例会のあらまし

平成29年度第5回神川町議会定例会は12月6日から13日までの8日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成29年度神川町一般会計補正予算ほか16議案、議員提案1件、請願1件、陳情3件、報告3件などが審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、12月6日に行われ、7名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。概要は、次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

感染症予防事業について

「おたふくかぜ予防接種の補助事業について」

おたふく風邪は、集団に入って五歳前後でかかることが多い病気ですが、かかるとまれに無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、精巣炎、膵炎等の

重篤な合併症を起こすことがあります。大人がかかると大変重い合併症が起こり、また妊婦がかかると自然流産を起こした例も27%と高いです。

おたふく風邪に対して、埼玉県では平成28年度、三郷市、鴻巣市、北本市、伊奈町、嵐山町、ときがわ町、東秩父村、毛呂山町、越生町と、9つの市町村で公費補助がされています。群馬県では、平成29年度14の市町村で公費補助がされています。神川町でも公費助成制度導入について、町の考えを伺います。

## 答え 町長



### 「国の動向に注視し慎重に考えていきます」

おたふく風邪は、唾液腺の腫れを特徴とするウイルス感染症で、神経や他の臓器への合併症も引き起こします。県内では、現在9市町村が助成をしております。

しかし、平成元年から定期接種となっていたはしか、風疹との混

合ワクチンの副反応による無菌性髄膜炎が報告され、社会問題となったことから、平成5年に中止となった経緯も踏まえ、助成については慎重に考えざるを得ません。

町としては、国の動向を見ながら、管内市、町とも連携を図ってまいりたいと考えております。また、おたふく風邪にかかることによる合併症等の危険性については、広報等を通じ、町民の皆様にも周知していきたいと思えます。

## 女性の活躍について

### 「女性課長の登用について」

政府は、平成11年度より男女共同参画社会基本法に基づき、女性の

活躍の場を広げています。このことにより神川町でも委員会、審議会で女性の委員が登用されるようになりました。平成27年12月より第4次計画として、政策、方針決定過程の女性の参画拡大について、「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるように努力を行う」こととしました。

また、行動計画の策定、公表が法律で義務付けになりこれによると、平成29年4月1日時点の埼玉県内の自治体職員の女性管理職ゼロは神川町を含む9つの町村です。住民が話しやすい、相談しやすい、神川町の住民にとっても大切な問題と思います。女性課長の登用について、町の考えを伺います。

## 答え 町長



### 「女性課長の登用に向け積極的取り組みます」

現在町における女性管理職の割合は18.2%となっておりますが、課長級職員につきましては不在の状況にあります。管理職という職責に自信がない、育児や介護などの家庭事情があるなどの理由から、課長職を希望する女性職員がいな

いのが現状で、その対策として職員の意識改革が重要であると認識しております。

こうした中、神川町特定事業主行動計画を平成28年3月に定め、職員の意識改革と働きやすい環境の整備を進めております。今後女性課長職の登用に向け、さらなる職場環境の整備や意識改革に取り組むとともに、女性目線を大切に、女性の立場からの意見の反映にも積極的に努めてまいります。

認定こども園について

「開園に向けての進捗状況について」

平成27年5月1日、子ども子育て会議で、認定こども園の図面A、B、C、資金検討書、スケジュール案が提出され、設計会社の方の説明でした。詳細について議会で全く話し合いがされていない案件が提出されました。なぜこのような進め方がされるのか。

町政は、議会制民主主義です。議会に対しても住民説明会でも清水町長が町長出馬の時の政治公約であると言いつつ続けた認定こども園ですが、予定している土地は、かんがい排水事業としての受益地であり、工事が完了した年度の翌年から起算して8年以内は、①農業者及びその子弟のための住宅②非農家の次男、三男等が分家するための住宅③農業者または農業者が直接組織する法人等が設置する地域農産物を集出荷、加工及び販売するための施設④その他農業振興地域の振興に必要な施設以外は建設することができない内容です。

認定こども園の進捗状況はどのようになるのでしょうか。町長の考えを伺います。

答え 町長



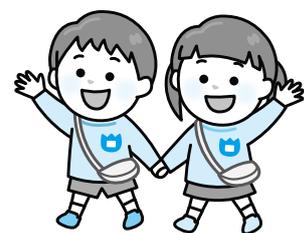
「子供たちの環境改善に向け、できるだけ早い時期に」

こども園設置に向けての見通し

ですが、現在もこの農地の除外転用の問題については、解決に向け、地域再生計画での制限解除を国、県と相談中であります。しかし、最終的には制限の解除を待つということも選択肢の一つとして検討しなければならぬと考えております。制限期間の終期は平成

33年3月31日となりますので、農地の除外転用の手続はその後となります。昨年度策定した認定こども園基本構想では、平成33年度の開園を目指すこととなっておりますので、構想どおりの開園は難しくなりますが、制限期間中であっても実施可能な事務は遅滞なく進める考えであります。今後も幼稚園、保育所に通う子供たちの環境改善

に向け、できるだけ早い時期に認定こども園ができるよう取り組んでまいります。



川浦雅子議員

国民健康保険税について

「制度の県単位化に伴い税額の引き上げではなく引き下げを」

平和や民主主義や暮らしを破壊する安倍政権は、総選挙が終わった途端、社会保障大改悪計画を打ち出しています。私たちは戦闘機はいりません。大企業減税も止めて、暮らしの予算に回して欲しい。この声を地方自治体として国に届けて頂き、国保は社会保障であるという観点から、国保税の引き上げは行わず、むしろ引き下げて頂く考えはあります。

## 答え 町長

「現時点では据え置き、国や県への財政支援等の要望を」

町の国保税は、県内でも低い状況にあり、引き上げをせざるを得ないと考えておりました。しかし、保険税水準の統一について、また厚労省においても新制度移行に当たり、保険税の急激な上昇は望ま



しくなく、税負担への配慮を求めています。こうした状況を踏まえ、現時点では税率の見直しは行わず、据え置く方向で考えております。

また、埼玉県及び県内市町村国保連合会と連携しながら、国や県への財政支援等の要望を行っております。国保税につきまして私の認識とすれば、住民の安全を守るという意味からすれば大事な保障の制度というふうに認識しております。

## 神川町第2次総合計画の地域産業について

「農業者の高齢化と農用地について」

神川町も近年荒れた農地が目立ちます。コメを今年作れても、来年はわからない。また、子には継がせたくない、と言う農家もあり、農業経営の厳しい現実があります。

根本には日本の農業を国の責任で守ってこなかった悪政に問題がありますが、現状として、今後の10年計画の中で農地をどの様に活用してゆくのか伺います。

## 答え 町長

「総合計画の基本構想にしっかりとした土地利用計画を」

町でも農地中間管理事業を農業推進の最重要施策として実施していますが、担い手農家が頼みの綱であり、今後担い手農家が減少すれば、将来的には農業への企業参入や法人化も視野に入れて検討し



なければなりません。

現在次期10年間に向けて、神川町第2次総合計画を策定していますが、その重点対策として土地利用計画が位置づけられております。町の最上位計画である総合計画の基本構想にしっかりとした土地利用計画を立て、それに沿った形で農業振興地域整備計画を見直しできるよう、関係機関と調整を図りながら、町にとってよりよい計画の策定を目指してまいります。

## 事業の進め方について

「住民へ認定こども園等の十分な経過説明を」

認定こども園開園の時期や現在の状況を住民に知らせて頂きたい。また、地域おこし協力隊音楽部門の方は、担当課は応募で来たと言うが、町長は頼んで来てもらったと言う食い違いは何か。これらの進め方に問題はなかったのか伺います。

## 答え 町長

「認定こども園の状況は住民に知らせてゆきます」



認定こども園についてですが、認定こども園の理解を深めてもらうため、今年度からは、町広報に認定こども園についての記事を毎月掲載しております。

今後も、住民に対し速やかに説明をしていきたいと考えております。

次に、地域おこし協力隊についてですが、募集の件の意見が食い違うという件でございますけれども、これにつきましては私が協力隊になってくれた方とお話する



堀川 光宣 議員

町道について

「長期間町道を通行止めにした事について」

池田地区の町道が冠水し、長期間にわたり通行止めになりました。その原因が、砂利採取の埋め土にあると思われる。砂利採取地の埋め土は、地盤高1メートルまでは排水を考慮した粗目の山土で埋めるとなっていますが、現状は不適当な残土で埋められています。そのため雨水が排水しにくくなり、冠水したと考えられます。こうしたことがおきるのではない、以前に町道の砂利採取についても質問を行いました。しかし、町長は「問題ない」と答えられたように記憶しています。

冠水する町道の改修工事は町の税金で行うのでしょうか、碎石採取業者の仕事に本当に問題はなかったのでしょうか町の考えを伺います。

中で、住所が都市圏であるということ、できたら神川町に住所を移し、移り住んでいただいて、神川町の地域おこしに一役買ってもらえないかということをお願いした経緯はあるということは事実でございます。

答え 町長

「調査方法の検討を含め、継続調査を」

本年6月、新神流川幹線水路脇及び町道脇からの漏水の通報を受けて現場を確認いたしました。新神流川幹線からの漏水の可能性もあったことから、原因追及には農繁期の終わる秋以降の漏水調査が必要であると判断し、たまった水をポンプで排水する応急処置を行うとともに、7月に入り、町道の通行止めを行いました。10月に入り実施した調査の結果、新神流川



幹線からの漏水が確認され、11月3日に漏水箇所の補修工事が完了したことから、同時に町道の通行止めを解除いたしました。地下水が原因であれば砂利採取業者において排水工事等を行う用意があるとのことです。

なお、最終的な原因追及には、新神流川幹線の農業用水供給を停止する必要があるため、調査方法の検討を含め、継続調査をしていくところでございます。今後は、継続調査の結果を受け、原因者に対応を求めるとともに、砂利道である町道の修繕等についても検討していきたいと考えております。



廣川 学 議員

神川町の発展について

「町の活性化・子育てにおける町の考え方について」

町は企業誘致や住宅など土地利用についてどうお考えか伺います。

「国道254号線バイパス期成同盟会」も結成されている、藤岡市との間に橋をかける施策ですが、改めて施策を進めていく上で町としての動きはあるのでしょうか。

次に、子育てについては、神川町の地域の協力を含め教育環境のよさは、もつと他地域にアピールするべきと考えますが、町の考え方を伺います。

町だけでなく保育士の確保が難しい一番の理由は、仕事に見合った賃金が支払われていないことではないかと考えます。保育士を安定的に確保するためにも、他の地区に先駆けて賃金の改正をできないのか伺います。

答え 町長



「引き続き要望し・効果的な展開を」

町としては人口減少に歯どめをかけるために、企業誘致による雇用の創出や住宅地の開発による定住人口の増加を図る施策を積極的に展開したいところですが、農地を守る制度とのジレンマに陥っております。

次に、国道254号本庄藤岡間バイパスの建設促進については、平成27年度に勉強会から新たに期

成同盟会として設立し、平成29年度の通常総会では早期事業化についての意向を改めて確認し、国、県等関係機関に対し本路線の早期事業化に向けて要望をいたしております。

また、現在町では、教育活動の効果的な展開を図るとともに、学校、家庭、地域との連携を推進することを目的として、開かれた学校づくりに努めているところでございます。

次に、保育士を確保するための大幅な賃金の増額をとのご質問ですが、保育士の確保については一般募集に加え、関係者の協力等に

より実績や人柄等信頼できる保育士の確保に努めております。賃金については、経験年数等を考慮して決定しており、郡市内の他の公立保育所と比べほぼ同額となっております。郡市内の他の公立保育所の賃金との兼ね合いや、町が独自に支給している特別賃金を考慮いたしますと、大幅な賃金の増額は難しいと考えます。



落合周一 議員



学校図書館の予算配分について

「図書予算の是正について」

現在、学校の図書室の図書購入費について調べたところ、小学校の児童の人数と図書購入比率がバランス良く配分されていませんでした。このような予算配分になっている理由をお伺いいたします。

また、丹荘小学校は学校図書室の蔵書達成率が68.1%となっております。丹荘小学校だけが100%になっておりません。子供たちにとって大切な読書教育ですが、学校図書室の蔵書数を増やしていく必要があると思いますが、どのようにしていく予定なのか、お伺いいたします。

答え 教育長



「学校の規模や蔵書数を考慮して検討します」

議員ご質問の学校図書予算の配分でございますが、今までは年間予算を町当局が各学校の要望に応じて決めておりましたが、今後におきましては学校の規模や蔵書数等も考慮して、予算の配分や本の購入数を検討していきたいと思っております。



図書室

いじめや不登校を生まない学校作りについて

「中一ギャップ・町の小学校の今後について」

小学校を卒業し、中学に進学した子供たちには大きな環境の変化が一気に生じます。中には適応し切れず、不登校やいじめなどの諸問題につながっていく子供もいるのではないのでしょうか。

そこで、中学校の不登校、いじめの状況、また、中一ギャップに陥っ



赤羽 奈保子 議員

答え 教育長



「早期発見、早期解消に努めます」

てしまったときの対応策、具体策をお聞かせください。  
次に現在町には4つの小学校があり、規模もさまざまです。小規模校から規模の大きい学校に行く子どもたち、みんなが環境の変化についていけるとは限らないのではないのでしょうか。  
将来的に小学校の統廃合も含め、今後どのような小学校運営を行っていくのか、町の考えを伺います。

町では、基本目標を定め、いじめ、不登校の防止を図っております。各小中学校ではいじめに関して早期に認知し、早期に対応して解消できるよう、積極的に取り組みをしております。今後早期発見、早期解消に努めてまいります。  
次に、小学校から中学校への進学において、児童生徒のケアや支援を行っております。また、地域と連携した対応の充実も図っております。これらの取り組みを通じて、幼保小中が一丸となって円滑な接続を図っており、小中学

答え 町長



「小学校の統合問題は慎重に対応してまいります」

町の小学校の今後については、地域の児童数の減少や財政事情を背景とした考え方だけではなく、小学校を統廃合することでのどのような影響が児童や地域に対してあるのか、また保護者や地域住民の方が小学校の統合問題についてど

若い方たちの政治参加や  
町づくり参加について

ういった考えや要望を持っている  
か等、今後十分に調査、検討を行  
い、皆様方のご理解とご協力を得  
て、慎重に対応してまいります。

「若い方たちの政治参加・共働の町づくりについて」

若い方たちとの協働のまちづくりについてです。若い人たちの投票率が低いのは、政治や行政について関心が薄いと考えられます。若い人たちが町の中での存在や影響を実感できるように、例えば若者議会の開催や青少年モニター制度、また政策策定時への参加など、まちづくりに関心を持てる取り組みをしていくことが大切だと考えますが、町の考えを伺います。

また、70年ぶりに選挙年齢の改正が行われ、選挙年齢が18歳に引き下げられました。18歳からの若者の投票行動が注目されていましたが、投票率が低いのが現状です。神川町でも10月の衆議院選挙では18歳、19歳の投票率は約30%と低いものでした。町は、若い方たちへの投票を啓発するためにどのように取り組んでいるのか、伺います。

答え 町長



「積極的に若者の社会参加に努めます」

若い方たちに行政について興味

を持つてもらおうとともに、意見やアイデアを出してもらおう機会を提供するような仕掛けを検討していきたいと考えております。

社会参画、行政参画に関心の低い若い方たちからアイデアを生かした社会活動やイベント等の提案を受け、実施することで、単なる

行政サービスの顧客にとどまるのではなく、若い世代全体が当事者意識を持ち、主役となることを促

し、自分たちの提案で町が変わるという機運を高め、特色あるまちづくりを目指してまいります。

答え 選挙管理委員会書記長



町の20歳未満の投票率は、平成28年の参議院通常選挙においては約44%、平成29年の衆議院総選挙においては約30%と、埼玉県全体から見ましても低調となっております。若い方たちへの選挙啓発といたしまして、若い方たちがよく利用している無料通信アプリライ

ンを活用し、投票日当日などに投票への参加を啓発しております。また、選挙権が18歳以上に引き下げられたことに伴いまして、今後選挙期日の投票所での投票立会人として高校生をお願いし、若い方たちへの政治参加を促していきたいと考えております。



渡辺浩一 議員

役場窓口の対応について

「町民のニーズに対する説明不足について」

介護保険などは天引きでしっかり引かれております。しかし、介護保険を使うことになった場合、さまざまな条件とか基準がありまして、そういう中からより安い費用で利用しやすく、また選びやすいように

介護保険を利用する側に立った説明をしっかりと行っていたらいいということがあります。ちなみに他の町の窓口では、わかりやすい説明があったということですので、そういう点、町の窓口の改善をお願いしたいということで、町の考えを伺います。

## 答え 町長



### 「利用者の方の状況に応じた窓口対応に努めます」

介護保険サービスの利用は複雑でわかりにくいところがございます。介護について相談したいときは、地域包括支援センターに連絡していただくか、介護保険の専門家である介護支援専門員、俗に言うケアマネジャーに自分に合った

ケアプランを作成してもらおうようご相談いただくのがよい方法だと思います。ちなみにケアプランの相談、作成は、全額を介護保険が負担しますので、利用者負担はございません。これらについても、該当の方に介護保険担当から窓口で案内をいたしております。利用者の方に個別に安いサービスをご案内する方法はありませんが、可能な限り利用者の方の状況に応じた窓口対応に努めてまいります。

## 子ども会育成会への支援について

### 「補助金の増額について」

子ども会育成会の運営に当たって、予算の不足からやりくりが大変なので、もっとさまざまな行事とか催し物を行う場合、もっと運営し

やすいように補助金の増額をお願いしたいということがあります。町の取り組みを伺います。

## 答え 教育長



### 「近隣市、町と比較しても決して少ない額ではない」

神川町子ども会育成会連合会は、町内子ども会育成会の活動を助長し、子供たちの健全な育成に寄与することを目的にしております。町では、育成会連合会への補助金を36万3,200円交付してあります。育成会連合会の事業は、体育祭の走れ神川っ子クイズ、かるた大会や指導者研修会を行っております。各行政区の育成会では、行政区内の子供を対象にしたクリスマス会やラジオ体操、お楽しみ会や交流会などが行われております。町から交付された補助金は、育成会連合会や各行政区の育成会活動に有効に生かされており、近隣市、町と比較しても決して少ない額ではなく、継続して支援してま

いりたいと考えております。町では、今後も育成会連合会と共同して各種教室や講座、スポーツ活動等幅広く事業を開催し、さまざまな体験を通して子供たちの心と体の健やかな育成と成長に努めてまいります。



子ども会育成会かるた大会

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

# 議案審議の結果

12月定例会は、平成29年度の一般会計及び特別会計の補正予算、条例の改正、請願、陳情などが審議され、それぞれ可決されました。

## 人事関係

◎固定資産評価員に新井美範氏を同意

固定資産評価員に町長から同意案が提出され、同意されました。

神川町大字矢納291番地  
昭和29年8月12日生

◎人権擁護委員候補者に山口精一氏を同意

人権擁護委員候補者に町長から同意案が提出され、同意されました。

神川町大字渡瀬750番地  
昭和27年5月26日生

## 条例など

件名	内容	審議結果
神川町多目的交流施設設置条例	神川町多目的交流施設の設置について規定するもの	○
神川町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、神川町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるとともに、報酬の額を定めるもの	○
神川町町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、期末手当の支給率を改正するもの	△
神川町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例		△
神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		○ ← (議員提案)
神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、条例の一部改正を行うもの	○
工事請負契約の一部変更について	神川町中央公民館大規模改修工事の追加工事費用が増加するもの	○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決)

## 予算関係

◎平成29年度神川町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ5,838万6千円を追加し、総額を70億5,388万5千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 9万4千円  
県支出金 286万円

繰越金 5,524万5千円  
諸収入 18万7千円

○歳出に追加された主な項目

議会費 48万4千円

総務費 641万4千円

民生費 3,281万9千円

衛生費 85万8千円

農林水産業費 336万円

商工費 19万6千円

土木費 56万1千円

消防費 86万4千円

教育費 118万3千円

公債費 1,164万7千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町一般会計補正  
予算(第6号)

歳入歳出それぞれ119万5千  
円を追加し、総額を70億5,50  
8万円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰越金 119万5千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 119万5千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町国民健康保険  
特別会計補正予算(第3号)

事業勘定の歳入歳出それぞれ、  
15万2千円を追加し、総額を20億  
3,228万7千円とし、施設勘  
定の歳入歳出それぞれ、28万6千  
円を追加し、総額を1億676万  
4千円とするもの。

事業勘定

○歳入に追加された主な項目

繰入金 15万2千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 15万2千円

施設勘定

○歳入に追加された主な項目

繰越金 28万6千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 28万6千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町後期高齢者医  
療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、8万3千円  
を追加し、総額を1億1,811  
万6千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 8万3千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 8万3千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町介護保険特別  
会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、2,210  
万5千円を追加し、総額を10億8,  
877万円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 534万6千円

支払基金交付金 616万円

県支出金 275万円

繰入金 784万9千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 10万5千円

保険給付費 2,200万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町町営バス事業特別会計補正予算(第1号)

債務負担行為によるもの。

事 項	期 間	限 度 額
町営バス運転業務委託	平成30年度	648万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町観光事業特別会計補正予算(第2号)

債務負担行為によるもの。

事 項	期 間	限 度 額
城峯公園指定管理料	平成30年度	900万円
冬桜の宿指定管理料	平成30年度	700万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町公共下水道事  
業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、8万円を追  
加し、総額を1億5,643万8  
千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 8万円

○歳出に追加された主な項目

総務費 8万円

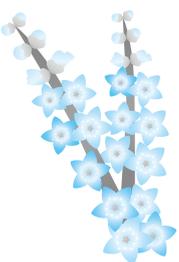
〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町水道事業会計  
補正予算(第2号)

予算第3条において収益的収入  
で110万円を追加し、予算累計  
額を3億3,683万6千円とし、  
支出で131万7千円を追加し、  
予算累計額を3億612万3千円  
とするもの。

予算第4条に定めた資本的支出  
の金額に1,730万円を追加し、  
予算累計額を1億3,678万7  
千円とするもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決



# 報告

◎専決処分の承認を求めることについて

・損害賠償の額を定め和解することについて

損害賠償の額

17万1,180円

〈審議結果〉承認

◎専決処分の承認を求めることについて

・平成29年度神川町一般会計補正予算(第3号)

正予算(第3号)

〈審議結果〉承認

◎専決処分の承認を求めることについて

・平成29年度神川町一般会計補正予算(第4号)

正予算(第4号)

〈審議結果〉承認



# 請願

◎文教厚生常任委員会

件名 核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願

要旨 核兵器禁止条約をすみやかに調印し「核兵器のない世界」の実現を目指すため

請願者 本庄児玉郡市地域労働組合連合会

議長 北村 晴夫

紹介議員 川浦 雅子議員

〈審議結果〉継続審査

# 陳情

◎総務経済常任委員会

件名 熊野堂地内町道2226号線の舗装について

要旨 町道2226号線の舗装工事のお願い

陳情者 熊野堂区長

荒井 恒夫

〈審議結果〉採択



現地調査のようす

◎総務経済常任委員会

件名 八日市地内町道3606号線の舗装について

要旨 町道3606号線の舗装工事のお願い

陳情者 八日市区長

塚本 眞一

〈審議結果〉採択

◎総務経済常任委員会

件名 下阿久原地内町道11133号線の拡幅及び舗装について

要旨 町道11133号線の拡幅及び舗装修繕工事のお願い

陳情者 下阿久原区長

野口 明

〈審議結果〉採択

## 県議長会主催町 村議会議員研修 会行われる

10月19日(木)、「フレサよしみ」にて株式会社はとバス 元代表取締役 宮端清次氏による講演会が「はとバス再建から得た教訓〜これからの自治体のあり方〜」と題して行われました。当日は県内の町村議会議員約300人が集まり、神川町議会からも全員の議員が参加しました。講演会では、「会社を潰したくなかったら耐えてほしい」と訴え、徹底した顧客サービスと全社員の賃金カットを断行し、攻めのコスト改革と、全社員が危機感と使命感を共有する意識改革を行わずか4年で累積を一掃し、同社の再建についてのお話がありました。

# 議 員 視 察 研 修



文教厚生常任委員会

子育て支援日本一を目指している新潟県長岡市にて子育ての駅を視察し、現在町で計画している認定こども園に少しでも生かせればと勉強してきました。



総務経済常任委員会

空き公共施設の利活用に取り組んでいる千葉県鋸南町、南房総市で道の駅、白浜校舎を視察し今後まちでも公共施設の統廃合を想定し計画するため、先進地の利活用を勉強してきました。

## 議 会 日 誌

※本日誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

- 11月**
- 9日 文教厚生常任委員会視察研修（新潟県長岡市）
  - 7日 税制改正要望（本庄法人会）
  - 6日 総合計画審議会
  - 5日 消防団特別点検
  - 3日 町民文化祭
  - 2日 青柳小学校公開
  - 1日 全員協議会  
議会活性化特別委員会



- 29日 冬桜まつり
- 28日 神川中合唱コンクール（ハッ場タム）
- 25日 旧議員倶楽部視察研修
- 21日 ハートフルデイ2017
- 19日 県議長会議員研修会（吉見町）  
大会  
第11回本庄地方地域安全
- 14日 群馬精工株式会社創立五十周年記念式典
- 8日 町民体育祭  
運動会
- 7日 青柳保育所・丹荘保育所
- 4日 横浜三溪園観月会



- 27日 那議長会臨時総会
- 16日 広域圏議会（セルデー）
- 13日 疑討論採決
- 9日 ネーション2017点灯式
- 8日 総務経済常任委員会
- 7日 文教厚生常任委員会
- 6日 第5回定例会（一般質問等）
- 5日 ペン
- 3日 ステラ神泉まつり
- 2日 神川幼稚園生活発表会
- 1日 定例全員協議会  
議会活性化特別委員会

**12月**



- 28日 議会活性化特別委員会講演会
- 24日 梨共進会  
議会運営委員会
- 20日～21日 総務経済常任委員会視察研修（千葉県鋸南町、南房総市）
- 13日～14日 郡議長会視察研修（新潟県湯沢町、新潟市）
- 12日 20周年記念 神川豊稜まつり